

いわき民報

社報民きわい
第一八三三番
已定額千日刊日
除た日刊日
第十二部一四五月十一年一十二和昭

木工建築設計請負
平土地住宅
社長 正木昌次郎
平市田町 電話二〇二番

神谷村も
母親学校開設
郡下十ヶ所に開設する母親学校

貴金属取得数量報告書提出
証紙を付した日銀券引換
一世帯月収二百圓以下の所得
無職證明交付、御路燈點燈、
「福島自治博覧會」徴収、燃料
消費節約、縣報講習會等で
区内會上通事項としては前常
會上通事項處理報告(蔬菜類
の配給方)、粉類の粉砕加工
料金の一定、市における粉
砕加工場の指定、物資配給に
關する内容の明示等

本社湯本支局主催
軟式野球決勝へ
興味をそよる組合せ決定
米増配が消費者へ及ぼす影響
と一般の間に及ぼす影響をよく
検討すべし、検討さへした
ならば樹の根絶は疑われないもの
と知れ
送電中止も知るべし、だがそ
れが産業再建の支障となること
は篤くと考ふべきではあるまい
か?

縣移管を繞る

四高女の陳情戦

凱歌は果して何處へ?

平高女を中心に小名濱、湯本、植田の市郡下の四高女が夫々明年年度の縣移管を
繞り猛烈な陳情戦を展開してゐるが果して何處が全的を對當てるか、平高女は
最も完備して凡ゆる点から第一候補であるが、本年度に於いて平高女校の縣移
管をみてゐるので、二年後には平高女校のみ移管することは政治的に難色を
認められる、かくするときは小名濱、湯本、植田の競合ひであるが、中植田は
設備、校舎問題その他から劣るので望み薄とあり、港小名濱はその財力にも
のいはせて校舎の新築等必死高女は關内、連沼地元兩縣議を
であり一方湯本は現在平高女に有して他處を期してゐるし
つぐ最も整つた施設と陣容を有する近郊縣も實地調査をなす運びと
してゐるので結局この二校の何あるか、この間に處して湯本
れかが選ばれるのではないかと小名濱兩校が如何なる戦法に出
られてゐるが大勢はやゝ湯本高女か今後の動きは大きな興味を
女に有利とされてゐる、然し平高女に有利とされてゐる。

平商業着工 協力委員も決定

平商業學校復興建築工事は去る午後一時から市内マルトモホ
十二日石城土建の請負に決定、これにこれが運営協議會を開き、
即時百七十三萬六千圓の豫算で今後の運営について種々協議す
着工した、これに伴ひ左記七氏が
が復興建築協力委員に縣から任
命され工事の監督促進に當るこ
とになった、一方後援會側の建
設資金募集は六十餘回に及んだ
が引き続き募集中で、中十五萬圓
分は建築資材の現物寄附となつ
てゐるので、復興工事は豫定通
り進捗するものとみられてゐる
神谷兼次郎、大内近雄、藤浪
時康、宮川義一、鈴木武雄、
比佐三郎、大嶺秀吉

日本アン閉鎖を宣言

アンブル労働攻撃憂慮さる
平市五丁目日本アンブル東北工
場では二十四日午前八時全工員
(内四名欠勤)を集め、藤田社長
から経営難の實情を訴へ工場閉
鎖を宣言した、工員の大多数は
事業繼續を嘆願してゐるが會社
側の態度強硬で工場設備を撤去
することに成らぬらしい

一部工員の 怠業が因

藤田社長苦心を語る
別項日本アンブル工場の問題は
西山工場長留守中、一部工員に
をつかせたものらしく、最近
の労働攻撃が會社側の経営實
情を無視して強行される傾向
が顯著なため日本アンブル東
北工場の如く経営放棄が續出
するものと一般から憂慮され
てゐる

公民館の 設置協議

各町村に 設置する
公民館開 題に積極的行動を開始した郡青
年協議會はその後各町村支部の
陣容を整へてゐるが、二十八日

今日も又送電中止

電産スト戦術は既報の如く主要
工場の送電停止にいたつたが、
二日目の廿四日も引續き大阪
造船平製鋼所ほか十一工場に對
し午前八時三十分から正午まで
三時間半に亘つて實施、引續き
續行することに決した

東北配從組職場大會へ

東配平從組の職場大會は二十四
日午前十時から同事務所で二百
余名の全従業員が参加して開か
れた、村上委員長は電産スト經
済、各職場から提出の待遇改善
諸問題等其の他について種々協
議したが、更に研究の上共同
要求案を作成二十九日開かれる
経営協議會に關し會社側の承認
をもとめることとした

富士興業の 鍛錬運動會

富士興業では來月三日警女校庭
に全従業員家族の感安をかねて
鍛錬運動會を開くこととしたが
市民一般から各種レリーの希望
者を募り優秀者には賞品を贈る
こととした

今年の秋刀魚漁は

縣下の出漁船は六隻のみ
お目見得は來月十日前後
秋の味覺の王座を占める秋刀魚漁が續いて、現在出漁したも
の漁期となつたが、今年の警城
の漁船は小名濱港所屬の藤和丸、中
ノ作港所屬の藤丸の二隻と、鯉
漁からそのまゝ、轉じたといわれ
江名港所屬の清丸、喜久丸
越丸、虎丸の四隻の計六隻、
戦前は四十隻から五十隻の出漁
に較べると夢のやうな有様、漁
場も現在は北海道から青森、岩
手沖であるため縣下の港へは水
揚げは來月に入つてからになる
最近據釜へは初水揚げをみたが
魚群は水温關係等から相當期待
がもてる向縣沿岸に魚群の回遊
をみれば前記六隻の外にも出漁
することは必然なので可成りの
水揚げをみることも出来ること
は十一月十日前後からとならう

町村豫算 更正協議

務所では二
十八日午前九時から市公會堂日
本間に町村豫算更正の打合せ會

一時預り金融業 委託販賣金融業

湯本町東町二三七青柳ハル
私名義の御預り品ハ期日マチニ御精算無之トキハ整理上止ムヲ
得マセンカラ御約束通り無効ト致シマス今後左ノ合名會社ヲ設
立シ新發足致シマシタカラ倍舊ノ御引立願ヒマス
(當分、間御預り中止致シマス)

合名會社百六十番

代表社員 青柳隆司
湯本町東町二三七
電話 一六〇

診療所落成

平市田町(高久病院跡)
高久醫院
醫師 高久 孝
醫師 高久 忠
内科小兒科一般
往診隨時應御
往診看護婦並女中募集

開業御披露

自動車修理は迅速な
親切で確實で迅速な
水野自動車工場
水野二郎
平市長橋町性源寺東角
電話連絡は678番

書籍

高價に減ります
平市五丁目
片寄書店

